

幼児生活発表会アンケートより(抜粋)

◆年少児クラス 12/7(土)開催

・楽しく大きな声で歌う子、我が子のようにずーっと動いている子、服の裾を触りながら照れている子、いろいろな子ども達の姿が可愛くて癒されました。この姿も少しずつ落ち着いて年長さんの頃にはすっかりお兄さんやお姉さんになるのかと思うと少し寂しい気もしたり、嬉しい気もしたり・・・いろんなハプニングがあり、笑わせてもらいました！

・楽器遊び、歌、劇遊びとても楽しめました。劇遊びの中でセリフを忘れていた子がいたら、分かる子が教えてあげる場面があり、普通の生活の中でも子ども同士が支え合いながら生活しているのかなと思ひ感動しました。



◆年中児クラス

・子ども達が、のびのびとダンスや劇遊びをしている姿が微笑ましかったです。子ども達の個性がよく分かる生活発表会でした。

・どの時期でも感染症はあるので12月の開催については、何とも言えないのですが、発表会当日お休みだった子のために「後日リベンジしたよ!!」みたいな動画があるとうれしいかなと思ひました。(すみれ組さんは当日インフルエンザ感染者が7名いたため、発表会ごっこをしようということになり、当日参加できなかった保護者の皆様をご招待させていただきました。)

・楽器あそびでは、音の大きな楽器でウクレレの音がわからなかったのが、楽器ごとのパートがあれば良かったです。



◆年長児クラス

・劇は子ども達が普段興味を持っているあそびや日々のSDGsの学びが盛り込まれていて、まさに「生活発表会」と感じました。内容に深みや考えさせられるものがあり、とても楽しく興味深く見させていただきました。

・一人ひとりのセリフも多いので心配でしたが、見事に大成功で感動しました。担任の先生以外の「大丈夫」の言葉を聞きすぎ不安になったようにも感じます。「楽しもうね」などの声がけをしていただきたかったです。



・子ども達の感動させたい気持ちに感動しました。家でも鍵盤ハーモニカやセリフの練習をしていて、行事があるたびに自分でやりたいの気持ちも強くなっています。いつも子ども達のやりたいに目を向けてのあそび環境作りありがとうございます。

令和7年 1月の保育園だより

『新年明けまして おめでとうございます』

～いろいろな感情の揺れに 寄り添いながら～

年末年始のお休みをご家族揃っていろいろな方法で楽しめたことと思います。子ども達がなんだかひと回り成長したように見えるのは気のせいでしょうか。

1歳児さんのお部屋を覗くといろいろなコーナーで、思い思いのあそびをいろいろなあそび方で楽しんでいます。新入児さんの泣き声につられて、0歳児クラスからの進級児さんも不安になり、保育者にしがみついていた頃が嘘のようです。

気に入った絵本を読んでとばかりに、私に差し出す子もいますが言葉はありません。「これ読もうか?」と言葉にすると「うん」と声に出し、お膝に座ります。絵本を読んでいると必ず2、3人の子ども達が傍に寄って来て、一緒に一冊の絵本も見たり聞いたりするようにもなりました。

時にはお膝を独占しようと場所を巡ってトラブルになることもありますが、お誕生日を迎えて2歳をすぎると「いっしょ」ということがキーワードにもなり、保育者が仲立ちをすると折り合いをつけ、数人「いっしょ」に絵本を見ることもできるようになってきています。

絵本を途中まで読みかけた時です。私の左手の人差し指を引っ張る男児がいたので、「待ってね。絵本が終るまでね。」と言って待たせてしまったのですが、私の人差し指に力を入れてずっと握ったままでした。

絵本を読み終えて、その男児の引っ張る方向について行くとトイレの前でした。「おしっこ?」と聞くとうなずきました。紙パンツやズボンを脱いで便器に座ると直ぐに排尿し、「おしっこでたね。」と拍手をすると一緒に手を叩いて笑顔になりました。待たせて悪かったと思いながら、「待っていてありがとう。」と伝えると、こっくりと首を下げまたまた笑顔になりました。「でそう」という感覚をコントロールしながら「でた」という感覚は大切にしたいところですが、言葉をまだ発しなくてもその前段階の表情やしぐさなど読みとり、言葉にして返してあ

げたり、スキンシップなどで子どもたちの思いに共感してあげることはとても大切な大人の役割です。

また、1歳児クラスの月齢の高い子ども達は、言葉でのコミュニケーションを喜びようにもなり、お友達同士で会話することを楽しめるようになりますが、思いが伝わらないとトラブルにもなります。感情の揺れを受け止め、一人ひとりの行動や思いを代弁することで、感情や行動をコントロールする場面があったとしたら、寄り添って受け止めてあげることが重要になるのではないかと思います。

信頼関係という言葉を保育園でもよく使いますが、子どもが大人を信頼するというこの前に、まず大人が子どもを信頼する→子どもたちが大人を信頼する→相互に信頼が構築される→そして信頼関係が生まれます。

ご家庭の中でも大人から見ると子どもたちはいろいろなことができない状態として存在しているかのように思えますが、いまはまだできないという視点に立つと、できないことを否定的にとらえることが少なくなります。できることのみが優先してしまうと、できない自分に戸惑ったり、大人も焦ってしまったりする傾向になりやすいので、できるようになるためにチャレンジをしていく過程を大切にしたいものです。

先月幼児クラスの生活発表会がありました。各年齢とも歌・楽器遊びやリズム・劇遊びという子どもたちの表現を通して、成長の一端を保護者の皆様と確認し合う場という行事ではありましたが、大人が(保護者も保育者も)できるようになることを優先すると、できない自分との葛藤で子ども達は不安になります。子どもたちの感情の揺れを受け止めながら、できるようになることよりやりたくなる環境作りの大切さについて、行事を通して感じているところです。

今年度も残り3ヵ月となりました。子ども達一人ひとりの生活リズムや思いを尊重し、感情の揺れに寄り添いながら「やってみよう!」が実現できるよう、子ども達の思いや声を反映しながら一人ひとりとの信頼関係をより深め、子ども達の育ちや学びを保護者の皆様と共有し合いたいと思っています。

(園長)

返みみょう保育園

とんど祭り(1/9・木)

森浜地区の住民協の皆様のお力添えをいただき、菜園付近の畑で、とんど祭りを開催致します。

藁については地域のご協力もあり今年もとんどを作ることができますし、昨年末の餅つきでもとんど用のお餅もつきました。子ども達とともに、とんど飾りを作ったりしながら、無病息災を祈り、地域伝来のとんど祭りを地域の皆様とともに楽しみたいと思ひます。

1/7(火)までに、家庭で使用された注連縄、破魔矢など持参していただくと、とんど飾りに利用させていただきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

園開放も同時開催をして、一緒に楽しみたいと思ひますので、近隣に未入園の親子などおられましたら情報提供してあげてください。

(雨天の場合は1/14・火に延期いたします。)



乳児保育参観・親子触れ合い遊びの会(1/18・土)

今年度最後の保育参観と親子触れ合いあそびの会を開催いたします。坂町生涯学習課やさくらんぼ会(保護者会)との共催で、講師に『にいみおもちゃの会代表・藤本忠男先生』をお迎えして、木のおもちゃに触れながらご家族であそびを楽しんでいただく時間にできたらと思っています。

幼児クラスのきょうだいや未入園の下の子どもさんも一緒に参加していただいでよろしいです。

時間：午前9時15分～(各クラスで保育参観)

午前10時～11時

(2Fホールで親子触れ合い遊びの会)

詳細については後日お知らせいたします。

卒園記念写真撮影(広報さかの写真撮影も含む)

就学もまじかになりました。1/28(火)は年長児クラスの子ども達と職員とで卒園写真の撮影を10時過ぎ頃より行います。

制服(紺のズボン・スカート、白シャツ、白靴下)の準備をお願いいたします。なお「広報さか・3月号」の表紙を飾る撮影も同時に行います。

